

2. 「体で訴える子どもたち

—心身症相談室から」

久留米信愛女学院短期大学教授

梁 井 迪 子

子どものための心身症相談室を小児科医院の中に開設して15年余になります。

主に医師・教育関係者からの紹介によって、幼児から中学生までを対象とした相談、心理治療を行ってきました。この経験の中から子どもの心身症の実態と、最近の傾向について述べます。

とくに、登校拒否の2、3の事例を通して、現代の親子関係の問題、および、これからの新しい時代にむかって、たくましく生き抜く力を育むために、幼児期からの家庭教育の中で留意すべき点を考えていきたいと思います。